様式 3-2

公　開　文　書

研究課題名 （研究番号 750）	急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術における困難手術予測スコアの検討
当院の研究 責任者（所属）	松本　将弥 （熊本市民病院　消化器外科）
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術（laparoscopic cholecystectomy:LC）は標準治療ですが、炎症の程度により手術難易度は大きく異なります。術前に困難症例を予測することは適切な術者選択や手術戦略の立案に有用です。緊急手術を行った急性胆嚢炎症例において術前 CT 所見および血液検査データを用いた困難 LC 予測スコアを作成し、その有用性を検討します。
調査データ 該当期間	西暦 2019 年 4 月 1 日　から　西暦 2026 年 7 月 31 日まで
研究の方法	2019 年 4 月以降に熊本市民病院にて急性胆嚢炎に対して緊急手術を施行された症例について、手術成績を検討します。
個人情報の 取扱い	匿名化されているもののうち、その記述単体で特定の研究対象者を直ちに判別できる記述等を全部取り除くような加工がなされているものを使用します。
本研究の資金源 （利益相反）	なし
お問い合わせ先	熊本市民病院　消化器外科　専攻医　松本　将弥 Tel:096-365-1711

備　　考	